

令和元年度 e・アンケートモニター
第2回アンケートNo.2 調査結果
テーマ「やまぐち森林づくり県民税について」

I 調査の概要

1 調査の目的

山口県では、山地災害の防止をはじめ、水源のかん養や快適な生活環境の形成など、森林の多面的な機能を持続的に発揮させるため、平成 17 年度から、5年を1期とする「やまぐち森林づくり県民税」を導入し、荒廃森林の整備や繁茂・拡大する竹林の伐採など、「安全で快適な暮らしを守る森林整備」を進めています。

こうした中、第3期の実施期間(平成 27 年度～令和元年度)は、今年度で満了することから、今後のあり方について、県民の皆様の御意見をお伺いし、検討を進めるに当たっての参考とします。

2 調査実施期間

令和元年9月9日(月)～9月24日(火)

3 調査対象

令和元年度 e・アンケートモニター 122 人

4 回答状況

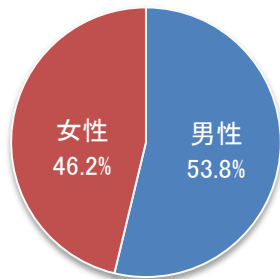
回答者 93 人(回答率 76.2%)

5 調査担当課

山口県農林水産部森林企画課

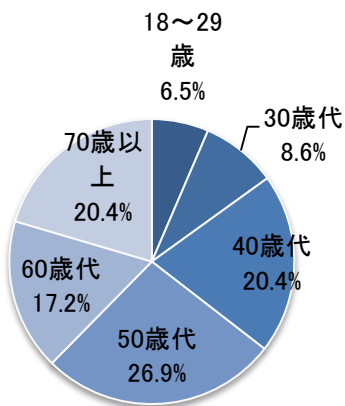
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	50	53.8
女性	43	46.2
計	93	100.0

■年代別

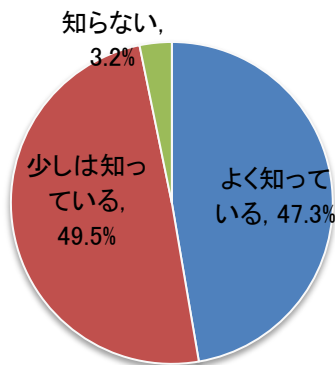


区分	人数	%
18～29歳	6	6.5
30歳代	8	8.6
40歳代	19	20.4
50歳代	25	26.9
60歳代	16	17.2
70歳以上	19	20.4
計	93	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が 100.0%とならない場合があります。

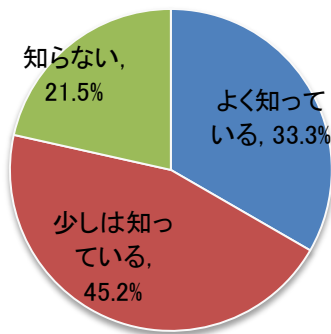
Ⅲ 調査結果

Q 1 森林は、豊かな水やきれいな空気を育み、災害から県土を守り、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収するなどの様々な役割（これらを総称して「森林の持つ多面的な機能」と呼ばれています）を果たし、県民の暮らしや産業を支えていることを、あなたはお存じでし



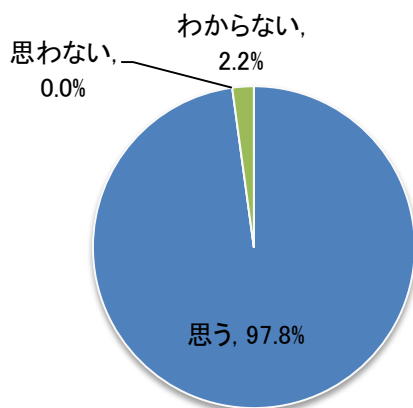
選択肢	人数	%
よく知っている	44	47.3
少しは知っている	46	49.5
知らない	3	3.2
計	93	100.0

Q 2 県土面積の7割を超える森林の中で、スギやヒノキの人工林が荒廃し、森林の持つ多面的な機能が発揮されにくくなっていることや、生い茂った竹林によって生活面での支障が生じていることを、あなたはお存知ですか。（1つのみ）



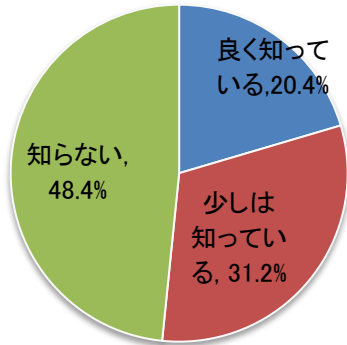
選択肢	人数	%
よく知っている	31	33.3
少しは知っている	42	45.2
知らない	20	21.5
計	93	100.0

Q 3 荒廃した森林や生い茂った竹林などを整備して、将来に向けて豊かな森林を引き継いでいくことが必要だと思いますか。（1つのみ）



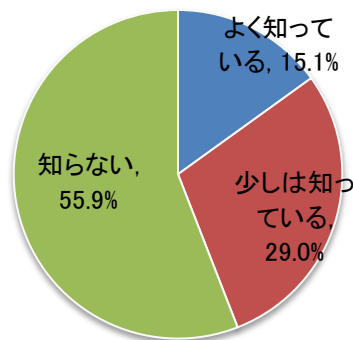
選択肢	人数	%
思う	91	97.8
思わない	0	0.0
わからない	2	2.2
計	93	100.0

Q 4 山口県では、荒廃した森林を再生することを目的に、平成 17 年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しています。このアンケート調査の前に「やまぐち森林づくり県民税」のことを、あなたはご存じでしたか。(1つのみ)



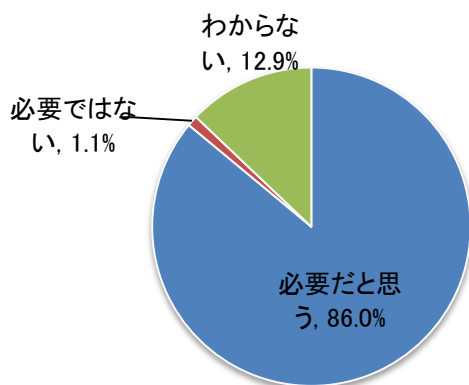
選択肢	人数	%
よく知っている	19	20.4
少しは知っている	29	31.2
知らない	45	48.4
計	93	100.0

Q 5 山口県では、「やまぐち森林づくり県民税」による税収を活用し、荒廃森林の再生のための事業を進めています。このような取組が進められていることを、あなたはご存じでしたか。(1つのみ)



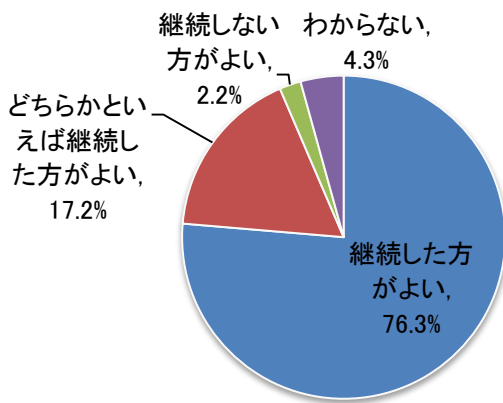
選択肢	人数	%
よく知っている	14	15.1
少しは知っている	27	29.0
知らない	52	55.9
計	93	100.0

Q 6 森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための取組を、あなたはどのように思われますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
必要だと思う	80	86.0
必要ではない	1	1.1
わからない	12	12.9
計	93	100.0

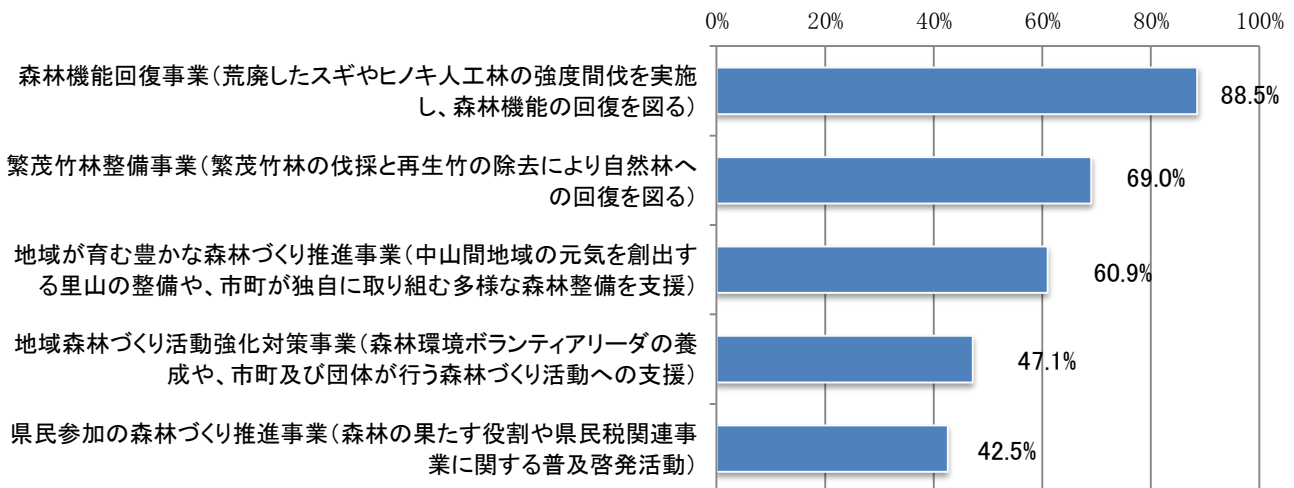
Q7 山口県には、荒廃した人工林や生い茂った竹林がまだ多くあります。あなたはこの取り組みをどのように思われますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
継続した方がよい	71	76.3
どちらかといえば継続した方がよい	16	17.2
継続しない方がよい	2	2.2
わからない	4	4.3
計	93	100.0

Q8 【Q7で、「1 継続した方がよい」又は「2 どちらかといえば継続した方がよい」と回答された方のみ】

現在取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合に、引き続き実施すべきと思われる事業はどれですか。(実施すべきと思われる事業すべて)



(n=87)

選択肢	人数	%
森林機能回復事業(荒廃したスギやヒノキ人工林の強度間伐を実施し、森林機能の回復を図る)	77	88.5
繁茂竹林整備事業(繁茂竹林の伐採と再生竹の除去により自然林への回復を図る)	60	69.0
地域が育む豊かな森林づくり推進事業(中山間地域の元気を創出する里山の整備や、市町が独自に取り組む多様な森林整備を支援)	53	60.9
地域森林づくり活動強化対策事業(森林環境ボランティアリーダーの養成や、市町及び団体が行う森林づくり活動への支援)	41	47.1
県民参加の森林づくり推進事業(森林の果たす役割や県民税関連事業に関する普及啓発活動)	37	42.5

Q9 【Q7で、「1 継続した方がよい」又は「2 どちらかといえば継続した方がよい」と回答された方のみ】

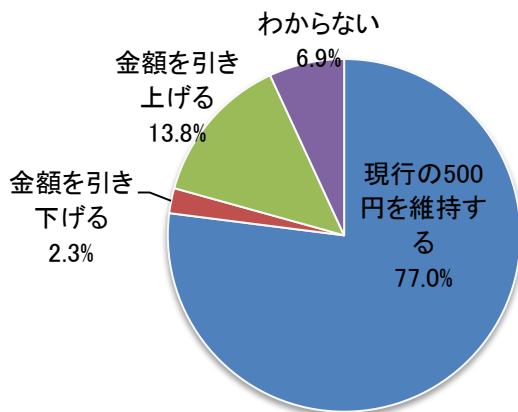
制度を継続した場合に、Q8に掲げる事業以外に取り組んだ方がよいと考えられる事業がありますか。あれば記入をお願いします。(全角200字以内)

省略

Q10 【Q7で、「1 継続した方がよい」又は「2 どちらかといえば継続した方がよい」と回答された方のみ】

「やまぐち森林づくり県民税」は、個人一人当たり年間 500 円を負担していただいています。今後も継続する場合、あなたはどの程度の負担が適当と思われますか。

(1つのみ)



選択肢	人数	%
現行の500円を維持する	67	77.0
金額を引き下げる	2	2.3
金額を引き上げる	12	13.8
わからない	6	6.9
計	87	100.0

Q11 その他、やまぐち森林づくり県民税制度について、ご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。(全角200字以内)

省略